



第57期 中間報告書

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで



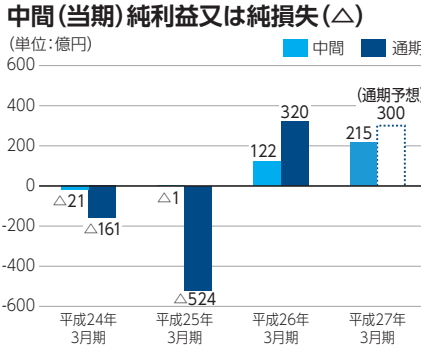
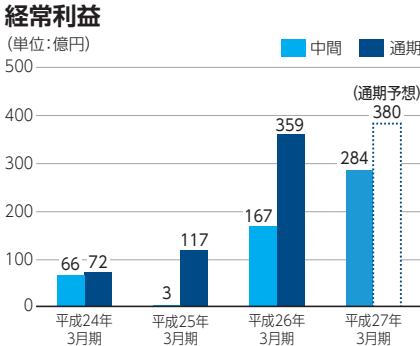
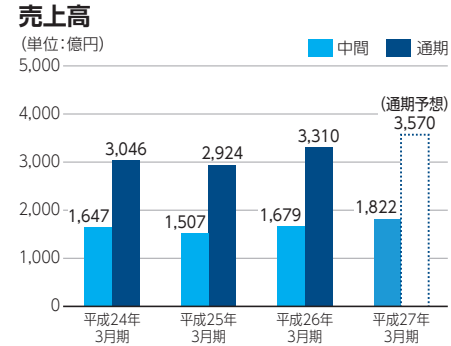
ローム株式会社

証券コード 6963



代表取締役社長 澤村 諭

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、第57期中間期(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)における概況をご報告申し上げます。



業績の概要

当中間期においては、欧州景気の停滞などの懸念材料がありましたが、景気拡大が続く米国や緩やかながら景気回復を続ける日本、減速はしたものの依然として高い成長率を維持する中国などに牽引され、全体として景気は堅調に推移しました。エレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンやタブレットPCなどが引き続き好調に推移し、自動車関連市場も世界市場が堅調なことやエレクトロニクス製品の実装率上昇等により、好調に推移しました。

ロームグループにおきましては、自動車関連市場や産業機器市場向け製品のラインアップ強化を継続して進めたことに加え、①ラピスセミコンダクタ株式会社とのLSIシナジー、②SiCなどのパワーデバイス・パワーモジュール製品、③オプティカルデバイス、④センサ関連製品を「4つの成長エンジン」と位置づけ、新製品の開発に取り組みました。また、海外市場での販売体制の強化や既存製品のラインアップ強化にも継続して取り組みました。

この結果、当中間期の連結売上高は、ロームの主力製品であるLSIや半導体素子が順調に売上を伸ばし、前年同期比

8.5%増の1,822億6千2百万円となりました。また、営業利益については、売上が増加したことによる利益の増加に加えて、これまで進めてきた事業構造改革の成果もあり、前年同期比105.4%増の212億3千3百万円となりました。また、経常利益については、前年同期比69.9%増の284億4千万円、中間純利益については、前年同期比75.8%増の215億2千1百万円と、それぞれ増益を達成することができました。

今後の見通し

世界経済は、中国や欧州における景況感の悪化などの懸念材料はあるものの、好調な米国景気に加えて日本でも消費回復の兆しが見られることから、当面は堅調に推移すると考えられます。

エレクトロニクス市場におきましては、デジタルスチルカメラなど民生機器市場の一部にもたつきが見られますが、スマートフォンや自動車関連市場、産業機器市場が堅調に推移しております。

こうした中でロームグループでは、引き続き自動車や産業

機器などの重点市場や海外市場に注力するとともに、スマートフォンやモバイル機器向けにも製品ラインアップの強化を図ってまいります。また、更なる高信頼性・高付加価値化や顧客サポート力の強化、長期的視点に立った研究開発・生産体制の拡充に取り組んでまいります。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想につきましては、平成26年11月6日に公表いたしました通り、下記を見込んでおります。

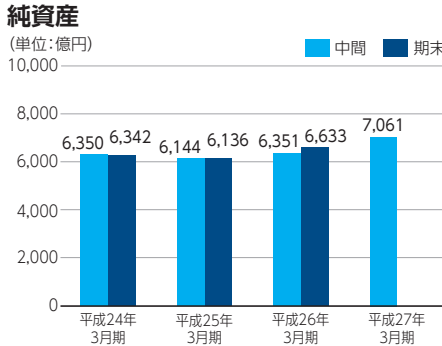
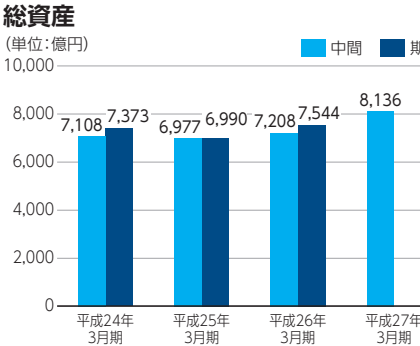
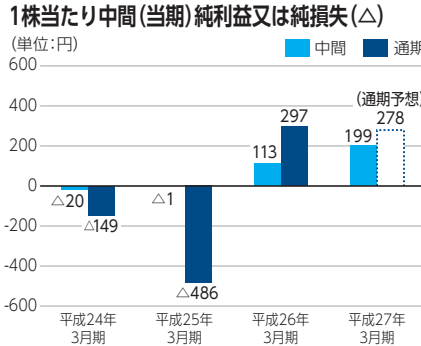
通期業績予想(連結)			
(単位:百万円)			
	平成26年3月期	平成27年3月期予想	前期比増減率
売上高	331,087	357,000	+7.8%
営業利益	23,635	34,000	+43.8%
経常利益	35,915	38,000	+5.8%
当期純利益	32,091	30,000	△6.5%

下期の為替レートは、1米ドル=105円を前提としております。

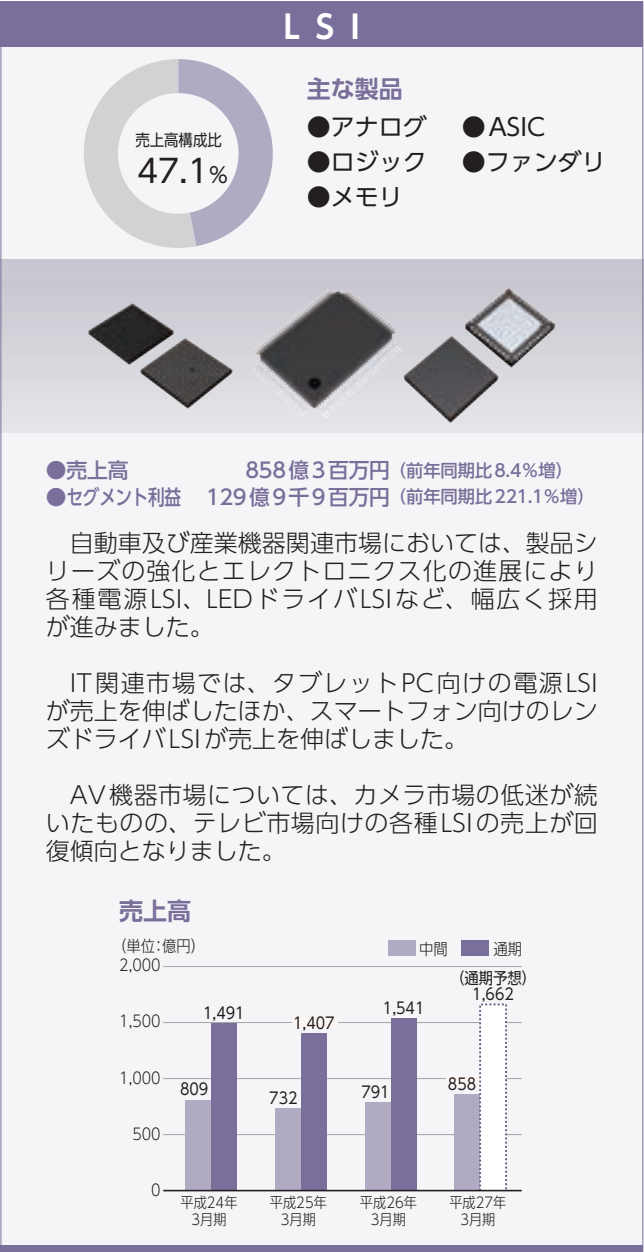
株主の皆様には、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月

代表取締役社長 澤村 諭



セグメント別の概況



業界初 スマートコミュニティ構築に最適な「Wi-SUN」対応の汎用無線通信モジュールを開発

ロームは、スマートメーターをはじめとするスマートコミュニティ構築に最適な国際無線通信規格「Wi-SUN (Wireless Smart Utility Network)」対応の汎用無線通信モジュール「BP35A1」を開発しました。アンテナ内蔵で電波法認証も取得済み、HEMSに最適なファームウェアも搭載しており、色々な機器に簡単に「Wi-SUN」通信機能を組み込むことができます。また、ラピスセミコンダクタの無線通信LSI「ML7396B」の採用により、業界トップクラスの受信感度を達成し、無線特性にも優れています。ロームグループでは、低消費電力でつながりやすい無線通信規格として期待されている「Wi-SUN」に対応する製品の開発を業界に先駆けて進めています。



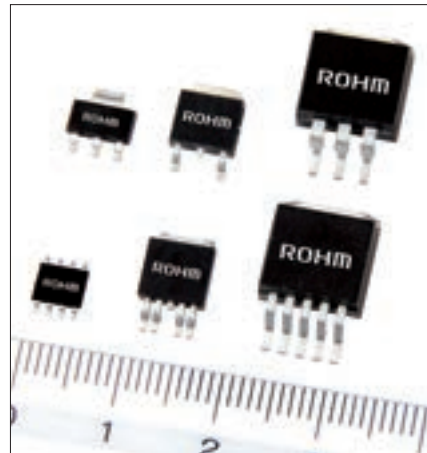
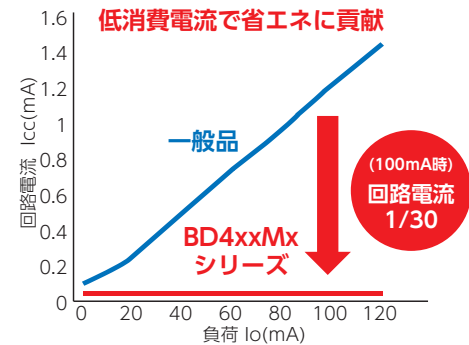
汎用無線通信モジュール「BP35A1」

車載向け新LDOシリーズ (AEC-Q100対応) を16機種開発 ボディ・パワートレイン系マイコン系電源に対応

ロームは、自動車のボディ・パワートレイン系マイコンの電源に最適なLDO※「BD4xxMxシリーズ」16機種を一挙に開発しました。「BD4xxMxシリーズ」は、パ

ワー系最先端プロセスである0.35 μm のBiC-DMOSを採用、加えてロームが得意とするアナログ設計技術を駆使し、一般品の2分の1以下（無負荷時）となる消費電流を実現、自動車の省エネ化に貢献します。また、電解コンデンサを必要とせず、小型のセラミックコンデンサで対応できるため、実装面積とコストの削減にも貢献します。

消費電流の比較



「BD4xxMxシリーズ」

※LDO (Low Drop Out / 低飽和) レギュレータ
入力と出力の電圧差が低いリニアレギュレータという区分の電源。スイッチングレギュレータと比較して、回路構成が簡単でノイズが少ないなどの特長を持つ。

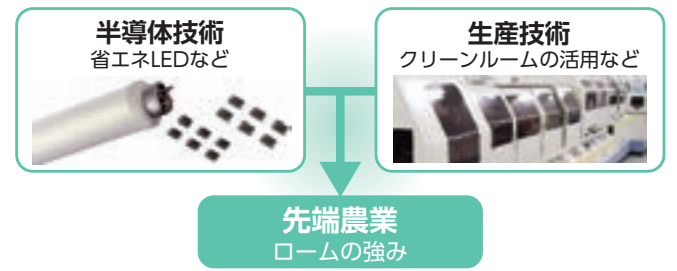
最先端の農業システムを用いた農作物の栽培を実現 ロームの技術を活かした植物工場でイチゴを栽培

これまでロームは、半導体、電子部品の開発を通して高品質、高信頼性、安定供給が求められる市場へ事業分野を拡大してきました。そして今回、安全・安心が強く求められる農業分野において、ロームの省エネLEDなどの半導体技術と、長年培ってき



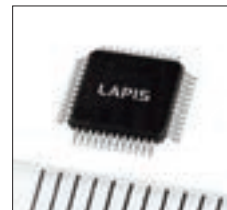
植物工場でのイチゴ栽培

た生産技術、クリーンルームを活用することで、植物工場というかたちで最先端の農業システムを用いた安全・安心な農作物の栽培を実現しました。季節性があり、栽培管理が困難なイチゴの安定的な栽培をローム独自の室内栽培技術により可能にし、2014年12月よりサンプル供給を予定しています。今後、順次事業拡大を進めてまいります。



ラピスセミコンダクタが 業界トップクラスの超低消費電力 16bit ロープワーマイコンシリーズを開発

ロームグループのラピスセミコンダクタ株式会社は、産業機器や住宅設備機器、民生機器に最適な汎用16bit ロープワーマイコンシリーズ「ML620500シリーズ」を開発しました。本シリーズは、書き換え可能なフラッシュメモリを内蔵、オンボードでの書込みが可能です。また、クロック周波数を高速



「ML620500シリーズ」

化し、乗除算器を搭載することで演算性能を向上しており、Bluetoothなどの無線モジュールやセンサモジュールと組み合わせたより複雑なアプリケーションの実現が可能になりました。

イルミネーションを開催 幻想的な光の演出が京都の街を照らします

ロームでは、1995年から社会貢献の一環として、本社周辺でのイルミネーションを実施してまいりました。



シンボルツリーと並木道

16回目の開催となる今回は、2014年11月28日から12月25日までの約1カ月間、ローム本社の敷地に面した佐井（春日）通り沿いの並木道を中心に68本の木々に約60万個の電球を点灯しています。ローム製LEDを使用した光のアトラクションも実施し、冬の夜空を明るく照らし、安らぎに満ちたファンタジーな空間を浮かび上がらせています。

連結貸借対照表

科 目	当中間期 (平成26年9月30日)	前 期 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産	493,506	461,745
現金及び預金	280,653	272,982
受取手形及び売掛金	82,353	67,536
電子記録債権	2,121	2,214
有価証券	21,936	15,282
商品及び製品	24,570	25,533
仕掛品	39,891	39,739
原材料及び貯蔵品	28,011	25,761
繰延税金資産	4,632	4,170
未収還付法人税等	196	269
その他	9,385	8,475
貸倒引当金	△245	△220
固定資産	320,173	292,661
有形固定資産	224,071	212,297
建物及び構築物	218,407	213,747
機械装置及び運搬具	487,017	465,152
工具、器具及び備品	47,974	45,585
土地	64,343	63,960
建設仮勘定	18,949	15,828
減価償却累計額	△612,621	△591,977
無形固定資産	4,115	3,005
のれん	49	66
その他	4,065	2,938
投資その他の資産	91,986	77,359
投資有価証券	67,083	58,841
退職給付に係る資産	1,495	723
繰延税金資産	5,508	5,525
その他	18,248	12,556
貸倒引当金	△349	△287
資産合計	813,679	754,407

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (平成26年9月30日)	前 期 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債	68,637	52,954
支払手形及び買掛金	14,325	12,324
電子記録債務	9,327	7,065
未払金	14,974	12,595
未払法人税等	2,658	3,636
繰延税金負債	17	45
その他	27,333	17,285
固定負債	38,906	38,065
繰延税金負債	27,354	25,764
退職給付に係る負債	8,489	9,948
その他	3,061	2,351
負債合計	107,543	91,019
純資産の部		
株主資本	719,836	700,250
資本金	86,969	86,969
資本剰余金	102,403	102,403
利益剰余金	580,594	561,002
自己株式	△50,131	△50,125
その他の包括利益累計額	△14,139	△37,266
その他有価証券評価差額金	18,801	13,347
為替換算調整勘定	△28,947	△45,788
退職給付に係る調整累計額	△3,993	△4,825
少数株主持分	438	404
純資産合計	706,136	663,387
負債純資産合計	813,679	754,407

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	前中間期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	182,262	167,979
売上原価	119,099	119,517
売上総利益	63,163	48,461
販売費及び一般管理費	41,929	38,123
営業利益	21,233	10,338
営業外収益	7,283	6,535
営業外費用	77	130
経常利益	28,440	16,743
特別利益	2	1,038
特別損失	1,186	349
税金等調整前中間純利益	27,255	17,431
法人税、住民税及び事業税	7,011	2,427
過年度法人税等	384	2,207
法人税等調整額	△1,680	538
法人税等合計	5,715	5,174
少数株主損益調整前中間純利益	21,540	12,257
少数株主利益	18	13
中間純利益	21,521	12,244

連結キャッシュ・フロー計算書

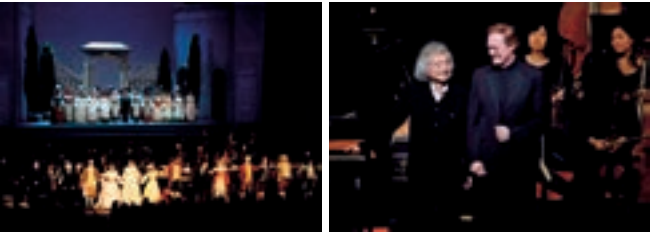
(単位：百万円)

科 目	当中間期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	前中間期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,512	27,036
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,015	△31,166
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,280	△1,724
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,329	3,233
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△25,453	△2,621
現金及び現金同等物の期首残高	240,391	197,045
現金及び現金同等物の中間期末残高	214,937	194,424

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

音楽文化への貢献
若き音楽家の成長を支援

ロームでは、1965年より、幅広い音楽支援活動を展開しています。2000年からは、「若い音楽家を育てたい」という小澤征爾氏の熱い思いに賛同して開始した「小澤征爾音楽塾」公演への協賛も続けており、2014年には「オペラ・プロジェクトXII（歌劇 フィガロの結婚）」を支援しました。



小澤征爾音楽塾 オペラ・プロジェクトXII公演（撮影：大窪道治）

地域への文化支援活動
ロームシアター京都

2013年7月、京都市とロームは2016年1月に生まれ変わる京都会館のネーミングライツ名称を「ロームシアター京都」に決定しました。現在、再整備中の京都会館は、これまで50年間にわたり京都の文化の殿堂として京都市民の皆様に親しまれてきた貴重な文化財産です。ロームは今後の継続的な文化支援活動として「ロームシアター京都」が社会・地域の皆様に愛され、文化の殿堂として日本を代表する施設となることを願っています。



ロームシアター京都 完成予想図



ロームは、音楽文化の普及、発展に寄与することを目的に1991年に設立された「公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション」の音楽文化普及活動を支援しています。

国際交流と若手音楽家の育成を目的とした「京都・国際音楽学生フェスティバル」、奨学援助を実施した若い音楽家によるコンサート「スカラシップコンサート」等、ローム ミュージック ファンデーションが開催するコンサート等への支援を行っています。



京都・国際音楽学生フェスティバル2014（撮影：佐々木卓男）

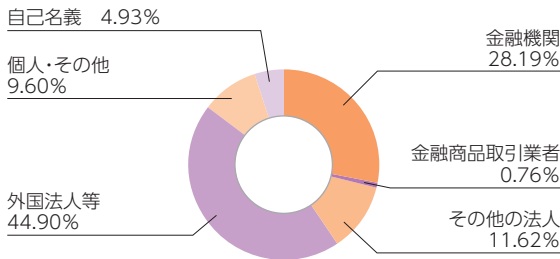


スカラシップ コンサート（撮影：佐々木卓男）

株式の状況

発行可能株式総数 300,000,000 株
発行済株式総数 113,400,000 株（自己株式5,595,470株を含む）
株主数 22,265 名

所有者別株式分布状況

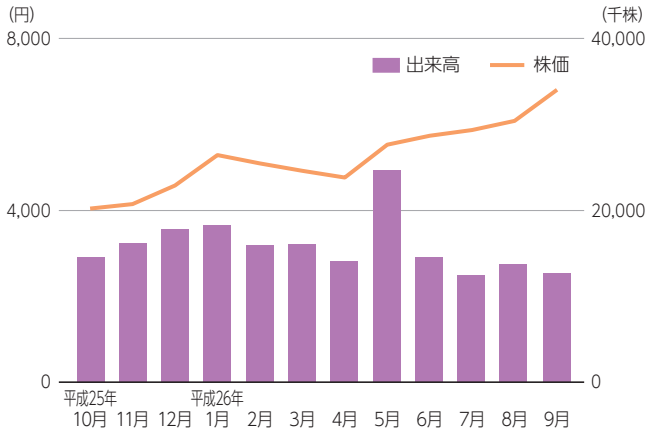


大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,830	8.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,698	8.06
公益財団法人ロームミュージックファンデーション	8,000	7.42
株式会社 京都銀行	2,606	2.41
佐藤 研一郎	2,405	2.23
ザ バンク オブ ニューヨークメロン エスエーエヌバイ 10	1,996	1.85
サジャップ	1,945	1.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,557	1.44
ピーピーエイチ ポストン カストディアン フォー ブラックロックグローバル アロケーション ファンド インク 620313	1,374	1.27
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー	1,276	1.18

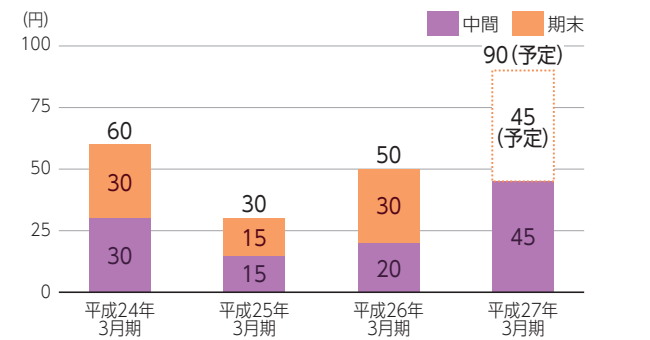
（注）1. 持株数は千株未満を、持株比率は小数点第2位未満を、それぞれ切り捨てて表示しております。
2. 当社の自己株式（5,595千株）は、上表から除外しております。
3. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式を除いた数に基づき、算出しております。

株価と出来高



（注）株価は各月の取引日の終値の単純平均を、出来高は月間の推移を表示しております。

配当金の推移



ローム ホームページ
<http://www.rohm.co.jp>

投資家情報
<http://www.rohm.co.jp/web/japan/investor-relations>





社名について
半導体メーカー・ローム (ROHM) の社名由来は創業当時の生産品目である抵抗器 (Resistor) の頭文字「R」に抵抗値の単位Ω [ohm] を組み合わせたものです。「R」は信頼性 (Reliability) にも通じており、品質を第一とするロームの企業姿勢を示しています。

■ 会社概要

社名 ローム株式会社
(ROHM COMPANY LIMITED)
本社 〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町 21
TEL (075) 311-2121
FAX (075) 315-0172
設立年月日 昭和33年9月17日
資本金 86,969百万円
従業員数 3,163名 (ロームグループ20,274名)

■ 役員

取締役社長 澤村 諭 ※
常務取締役 高須 秀 視
取締役 藤原 忠 信
佐々山 英 一
高野 利 紀
松本 功
東 克 己
山崎 雅 彦
川本 八 郎
西岡 幸 一
監査役(常勤) 柴田 義 明
岩田 秀 夫
監査役 玉生 靖 人
村尾 慎 哉
喜多村 晴 雄

(注)
1. ※印は、代表取締役であります。
2. 取締役 川本八郎及び西岡幸一は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
3. 監査役の5名は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
4. 当社は、取締役 川本八郎、西岡幸一の両氏、及び監査役の5名を、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、当該取引所に届け出ております。

■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
株主確定の基準日 定時株主総会、期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
単元株式数 100株
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
TEL (0120) 094-777 (通話料無料)
金融商品取引所 東京証券取引所
公告方法 以下の当社ホームページに掲載しております。
<http://www.rohm.co.jp>
(ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします)

【株式に関するお手続きについて】
「住所・氏名のご変更」、「配当金受け取り方法のご指定」、「単元未満株式の買取請求」、「単元未満株式の買増請求」等各種お手続きの窓口は、次のとおりとなります。
なお、株券電子化までに証券保管振替機構 (ほふり) を利用されなかった株式につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に管理口座 (以下、「特別口座」といいます) で管理されております。

- 証券会社等の口座にて保有されている株式にかかるお手続き
→お取引のある証券会社等にご照会ください。
- 特別口座にて保有されている株式にかかるお手続き
→特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社に ご照会ください。

なお、下記のご照会等につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。
●「支払期間経過後の配当金に関するご照会」
●「郵便物等の発送と返戻に関するご照会」
●「株式事務に関する一般的なお問合せ」

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
住所：〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
テレホンセンター：(0120) 094-777 (通話料無料) (受付時間：平日9:00～17:00)
ホームページ：<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

ローム株式会社

本社 〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町 21
TEL (075) 311-2121 FAX (075) 315-0172
URL <http://www.rohm.co.jp>

